

保育計画成果報告書

法人名等	社会福祉法人えんがわ福祉会
施設名	亀久保ひまわり保育園
報告者（役職）	小林倫子（園長）
住所・連絡先	埼玉県ふじみ野市亀久保4-12-33
	☎ 049-264-5515
	E-mail contact@kamekubo-himawari.jp

○タイトル（保育計画）

戸外遊びは魔法の時間！どんな遊びも友達にして魔法の時間を楽しむ子ども達
～園庭というフィールドで限りない可能性を伸ばそう！～

○主な助成備品

アクティブリトルライダー8台、逆上がり補助器小型1台、星型登はん棒1台、
ステンレス低鉄棒3段

1. 保育計画策定の目的

3年前新園として開園した当時は小さな園庭しかない環境でした。どんなに保育の質を高めながら努力しても、園庭がないという事は「ひとつだけ残念なんだよね」という保護者の声がありました。理事長がその声を聴き、土地を借りて大きな園庭を作ってくれましたが、財政上まだ砂場だけしか整備できませんでした。

この園庭で全身を使って登る「登り棒」やうまく身体の部位を使いこなす鉄棒、小さな子供たちが思い切りこいで走れる三輪車があれば更にのびのびと遊べるはずと保育計画を策定しました。

2. 具体的な実施内容

助成金をいただき、業者の方が園庭に来てくれました。運動会の練習ができるスペースは確保し、0歳～5歳が一緒に遊んだ時危険がなく、登り棒と鉄棒がうまく動線上繋がって出来る様、設置場所を職員みんなで考えました。三輪車は倉庫からすぐ取り出せる様に片づけ場所も考えました。

無事に設置でき、初めて使用できる日に第一生命の方々にも来て頂き「使い始め式」を行いました。第一生命の方々からもお祝いの言葉を頂き、職員が遊び方をきちんと伝えて、歌を歌って使い始め式が無事終了しました。その後はみんな大喜びで鉄棒、登り棒、三輪車で思い切り遊びました。

3. その成果と評価

保育園に鉄棒や登り棒がなかった時は、それがある公園でないと出来なかったので子供たちはほとんど興味がなく、やってみても出来ない子供が多かったです。しかし、園庭に設置されると毎日のように挑戦する姿があり、どんどん上達していきました。

5歳児は登り棒ができる子たちが下からおしりを持ち上げてあげたり、どうやったら出来るのかを教えてあげたりと、子供同士励ましあい、出来ると喜び合う姿が見られました。腕の力、足の力、指先の使い方を覚え、やるたびに上達していきました。そんな動かし方や使い方は他の遊びや活動にも活かされていくので、子供の力はすごいなと改めて感じさせられました。

5歳児より小さな3歳児、4歳児は5歳児の姿を見て憧れ、あんな風になりたいと、出来ないながらも諦めず保育士に手伝ってもらいながら楽しそうにチャレンジしています。

鉄棒は3歳児、4歳児が運動会で取り組むきっかけとなり、「出来ないから練習する」と諦めないで努力する姿がありました。

三輪車は主に1歳児2歳児が園庭にくと倉庫から出してもらい、赤、青、緑、黄色の三輪車にまたがってヒーローになりきって遊んでいます。足がつく子は足でこいでバランスをとり、まだ足がつかない子は両足で踏ん張りながら進んでいます。遊びの中で様々な能力を使って、全身のバランス力を身に着けているのだと思います。

4. 今後の課題と展望

園庭の周りに次々と一軒家が建ち並び、子供たちの声がうるさいのではないかと肩身が狭くなっています。長時間使用しないで、散歩に出かけたりしながら園庭を上手に使っていかないとトラブルにつながるのではと思っています。

園庭開放で地域の方々にも使って頂き、近所の方々と上手に付き合っていきたいと考えています。



この三輪車は、赤・青・黄色の3色があり、園庭に行くとき2歳児や1歳児の子ども達は三輪車が入っている倉庫の前にちゃんと順番に待っています。そして、冬の寒さなんかへっちゃらで、ほっぺを真っ赤にしながらペダルをこいでいます。足がまだペダルまで届かない子どもは、立って必死でみんなと同じようにスピードを出そうと足漕ぎをしています。大きなお兄さんたちが園庭に来ると、優しく後ろから押してくれるのでここにこ顔です。



年長組の子ども達は、鉄棒が保育園にやってきてからは、逆上がりが出来るようになっていこうという目標をみんなで考えました。時間があれば園庭に行って逆上がりの練習に熱中する姿が見られました。努力の成果もあり出来るようになった子どもは、「先生見て！こんなに出来るよ」と得意そうに見せてくれます。もう少しの友達には、コツを教えて応援しています。そしてついに足が上がって、クルリと回るとみんなで大喜びです。優しい心も育ちます。



まだ完全に逆上がりが出来ない年中組は頂いた逆上がり補助板を利用して一生懸命練習しました。最初は補助板の使い方もうまくいかなかったのがコツが分かると上手に板を利用して逆上がりが出来るようになってきました。

もう一つのプレゼントの登り棒は、まずは裸足から練習が始まりました。どんどん上手になると、靴を履いたままスイスイと登って行くので、子どもの成長にびっくりです。

順番を待って何回も挑戦していく姿から「あきらめない！」という気持ちが伝わってきます。



以上